



専門学校 健祥会学園における取り組み



専門学校健祥会学園について

専門学校健祥会学園は、徳島市に位置する福祉・医療・保育分野の専門職養成校で、1996年に社会福祉法人健祥会によって設立されました。理学療法学科、作業療法学科、介護福祉学科、保育学科の4学科を設置し、それぞれ国家資格取得を目指す教育課程を編成・実施しています。健祥会グループの支援を受け、関連施設での実習や現場に即した指導が充実しており、実践力を重視した教育を特徴としています。少人数制やICT活用による学習環境も整っており、開校以来高い就職率を維持しています。地域社会に貢献できる人材の育成を目指し、専門知識と人間力を兼ね備えたプロフェッショナルを輩出しています。



河野 和代 学科長

FACE DUO導入のきっかけ 理由

専門学校健祥会学園では、介護福祉や理学療法・作業療法などの分野で、現場に近い体験を学生に提供することを重視しています。FACE DUOは、VRを活用した対人支援トレーニングツールであり、学生が仮想空間で利用者とのコミュニケーションや対応を練習できるため、実習前の準備や振り返りに非常に有効だと考えております。

また、健祥会グループの施設と連携し、VRを活用した教育を通じて、より質の高い人材育成を目指す取り組みの一環として導入しました。

FACE DUOの導入により、学生は従来の座学や実習に加え、VRによる体験型学習を通じて、より深い理解と実践力を身につけることが可能になっています。

さらに、学園内の学びだけでなく、県内の介護従事者のキャリアアップ研修や県民の皆様の認知症理解への啓発を目的とした介護出張講義を通して、地域活動にも積極的に活用しております。

FACEDEUOの事例や反応

介護福祉士を目指す学生を対象とした授業において、FACEDEUOは認知症に関する理解を深めるためのツールとして活用しています。授業では、まず認知症に関する基礎知識の確認にFACEDEUOを用い、学習内容の定着を図っています。さらに、認知症の方やその家族、支援者といった異なる立場に立って考える活動を通じて、学生は支援の在り方について多角的に理解を深めています。特にVR動画を活用した体験的な学習では、認知症の方の視点や感情を疑似体験することができ、単なる知識の習得にとどまらず、共感力や実践的な対応力の向上に繋がっています。



VR体験後には、学生同士でロールプレイを行い、実際の支援場面を想定した対応を考えることで、現場で求められる柔軟な支援力を養うことができています。このようにFACEDEUOは、認知症教育において、知識・体験・実践をつなぐ有効な学習支援ツールとして活用しています。

今後の期待

VR機器を活用して視聴している映像をスクリーンなどに投影し、参加者全員で共有できる点が非常に嬉しいです。コンテンツの内容もわかりやすく、認知症のある方への支援の在り方や、ご家族の気持ちへの共感、適切なコミュニケーション方法や技術の理解、さらには他者の気持ちを考える思考力の育成など、さまざまな視点から学びを深めることができる構成になっています。

学内での教育にとどまらず、県民の皆様を対象とした介護に関する出張講義や地域イベントなどでも活用しており、幅広い場面で効果的な学習支援ツールとして活用しています。



認知症の方の気持ちや行動の背景を知り、具体的な対応を学ぶための、専門医研修の体験型VRトレーニングプログラム



2つの視点で体験



VRを通じて認知症当事者の主観で体験することで、認知症当事者の行動の背景や気持ちを理解することに役立ち、接し方の工夫などを学ぶことができます。

介護者の視点と認知症者の視点を両方体験することで、相互コミュニケーションの重要性の理解に繋がる。

詳しくは公式サイトにて

[faceduo](http://faceduo.jp)

検索

販売  Otsuka

JOLLY
GOOD!